

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の管理・運営

コード	名称
事業名	3022 下友生地区排水処理施設機能強化事業費
基本施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する

担当部課名	建設部下水道課
作成者氏名	松本 秀喜
連絡先	22 - 9821

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	平成7年度に供用開始した下友生地区農業集落排水処理施設において、処理場の機械機器等の耐用年数が経過し、取替えが必要となった。 対象者は、当施設を利用している世帯の生活雑排水と尿尿です。	機器を取り替えることにより、施設の機能が強化され、適正な維持管理ができることによって、汚水を適正に処理することができます。また、国庫補助事業で実施するため、維持管理経費の節減になります。
本年度事業内容	機械機器の取替え 中継ポンプ施設(通報装置2基) 処理場施設(し渣脱水機1基・スクリーン槽1基・電磁流量計1基・非常通報装置1基 等々)	
運営主体	直営 指定管理 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等 浄化槽法 農業集落排水資源循環統合補助事業実施要綱
市内の類似施設	朝屋・百田地区農業集落排水処理施設等、上野管内に14施設があります。	

投入資源

	H19	H20	H21
投入人員	正規職員 (人)	0.2	
	人件費合計(A)	1,440	
支出内訳 (千円)	事業費(B)	20,200	
	委託料	2,000	
	工事費	17,300	
	その他	900	
合計(A+B)	21,640		
財源内訳 (千円)	特定財源 国県支出金	10,100	
	地方債	9,000	
	受益者負担		
	その他特財	1,100	
	一般財源	1,440	
上記 ~ に関する特記事項 財源内訳の「その他特財」については、一部、使用料金を充当			

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 19	年度
取替機器数	基	23	
取替率 (取替を行った機器数 / 要取替機器数 26基)	%	88	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
適正稼働率 {(365日 - 故障等発生日数) / 365日}	施設の機器等の故障発生日数が少ないほど、施設が適正に管理されていることに繋がることから、適正稼働率を指標にします。	%	100
施設使用者の満足率 (満足者数 / 施設利用者数)	施設利用者の満足度などを指標と考えられるが、把握が困難なため不採用とします。		

評価	必要性	有効性	効率性
価	4	4	3
	当施設は、処理区域内の方の生活環境の改善と、併せて、公共用水域の水質保全に寄与していることから、今後も適正な維持管理に努めなければなりません。そのためには、機械機器の取替えを行う、この事業は必要であります。		
	本事業は、伊賀市総合計画の基本施策に位置付けされています。		
工事の契約方法の変更により、コストを下げる余地があります。			

総合評価

A